

丸山湿原群保全の会会報

(第 152 号)

発行日：2020 年 (R2) 3 月 17 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail : maruyamashitugengun@gmail.com

コロナ、コロナ、コロナ・・・世の中は新型コロナだらけ。前回の会報では騒ぎすぎと書きましたが、WHO もパンデミック宣言。学校は休校、イベントは自粛、経済にも大きな影響が出てきています。甘く見て申し訳ありませんでした。まさしく循環のストップ！「生物」とも言い切れないウイルスになんとも不思議な話です。人類の歴史は「感染症」との戦いともいわれるそうですが。

止めるばかりではなく、何かを動かさなければ循環は戻らない。いつから動き出すのでしょうか？そのためには「正しく知る」でしょう。「インフォデミック」という言葉も耳にします。新語？意味は「根拠のない情報が大量に拡散される事」だそうで、むやみに恐れているのが今の状態？「正しく恐れる」という言葉もよく聞きます。相手を正確によく知ることが大切。マムシやスズメバチなども同じ。すべては共通の「学び」で繋がっているのかもしれませんが。

コロナ報道以降、丸山湿原来訪者は確実に増えています。健康やストレス解消には持ってこい！経済の循環につながらないのが玉に瑕（たまにきず）。お後がよろしいようで。

(今住 3 月 16 日作成)

丸山湿原セミナー・両生類卵塊数調査

★2月23日(日) セミナー参加者62名・調査参加者約50名(現地参加あり。正確には?)

毎年ですが、参加者は何人ぐらいなのかハラハラします。なら事前申し込みを受け付けたり？という意見もありますが、この緊張感が好き？なのです。今年度はしかもコロナのおまけつき。20



田口さんとウルトラマン博士



ウルトラマンも恐れる？危険生物

名ぐらい？と書いていたらなんと60名を超える参加者がありました。遠くは広島市から高校生が2人も。律義に制服で。講師の田口さんのTV出演も影響しているようですが、この2人はうちの高校生会員のツイッター？インスタグラム？友達。SNS 恐るべし！しかもお互い名前も知らずにやって来た。生き物好きの「出会い系(?)」ですね。会話も「君がD君ですか」と。「D君？」というのが実際の会話です。面白いですね。しかしくれぐれもご用心！

今年もハンザキ研究所から田口さんをお迎えし、「両生類の棲家」と題して講演をお願いしました。昨年と同様「ウルトラマン博士＝息子さん」同行で。ウルトラマン博士は最近危険生物にはまっておられるようで、そちらの研究に没頭されていました。90分間！

今回のテーマ設定は、「両生類が繁殖時期以外どこで生活しているのか」。知っている人が少ないことからお願いしました。



広島市からやってきた高校生2人

両生類の生活圏（ハビタット）はどこ？スライドで里地里山の絵が登場。「両生類がいるところに印を」と。同資料は配布済み。皆さん悩みながら印を付けて



里地・里山スライド

いきます。その後、いろいろな両生類の生活史を交えて確認。意外にも絵のほとんどの場所に両生類が。家の中、山の中、田んぼ、川・池などなど。さすがに空にはいないようですが…。両生類の「両生」は「水と陸の両方で生きる」の意味。幼生の間はえら呼吸（水中）。成体は肺呼吸（陸上）をする生き物。（たまに例外あり）このことをおさえ、両生類の危機へ話題は移り

ます。脊椎動物の中では両生類が最も絶滅の危機が高い。30%が絶滅危惧種。43%が減少傾向という現実。「両生」であるが故に危機が。つまり生息地の分断や乾燥化。両生類が暮らす陸と繁殖場所の水辺に移動できなくなっている現状。身近にも田園風景は広がりますが、溝はコンクリート。カエルやサンショウウオは超えられず暮らせず。コンクリート柵に大雨で流された大量のイモリが見つかることがあります。コンクリートでは元の場所に戻れません。トノサマガエルにも乾燥化した田んぼはつらい。見た目には美しい田園風景でも、実は農薬使用も含めて両生類を初めとする生き物には厳しい環境になっているようです。



オタマジャクシ発見 約5mm

両生類は「生態ピラミッド」の中で上下を結ぶ（中間的）役割を担っているという話も。全てが繋がりにある世界。バランスの崩れは何を引き起こすのでしょうか？それこそ今の…

午後は丸山湿原へ卵塊数調査。午前のセミナー中に方法の説明はあったもののもう一度確認。しかし参加者が50名に膨らみ舞い上がりました。確認番号を地図に書き込むことの徹底と回収にミスが。後日確認番号を頼りに会員2名で地図に落とし込みまし

た。反省です。来年こそはミスの無いよう頑張ります。

調査は7班に分け、第3湿原（1班）・第1湿原（4区分4班）・第4湿原（2班）で実施。

第4湿原はまず見つからないと思っていたのですが、自ら進んで第4を選んだ「高校生」チームと、「ちょっと変わった人」チームがなんとそれぞれ4つ（片・対）発見という新たな領域を見出してくれました。来年は第4湿原にも「センサスラインを張っては？」と田口さんから提案されました。「ちょっと変わった人」というのは「マニアック軍団」という意味でこの筋では褒め言葉ですのでお間違いなく。



セトウチサンショウウオ卵囊



田口さん最後のまとめ

しかし思った通りアカガエル類の卵塊は発生が進み、半分ぐらいがオタマジャクシに。大体の塊カウントとなっています。昨年より1週間早い調査なのに暖かい冬の影響でしょうか？セトウチサンショウウオ（瀬戸内山椒魚）の産卵はほぼ例年通りか？この違いは何なんでしょうか。3月でもまだ産卵は続いているようです。



珍しい発見 陸上幼体 2年目？

調査結果：セトウチサンショウウオ 20 (対&片)、ニホンアカガエル (日本赤蛙) 26 塊ぐらいとなりました。ニホンアカガエル成体 1、アマガエル 1、セトウチサンショウウオ陸上幼体 1 (これは珍しい) が見つかりました。

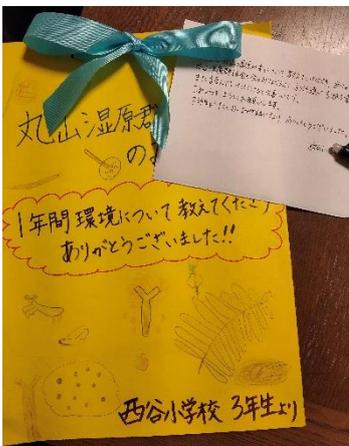
そうそう今回も J:com の TV 取材がありました。セミナー・調査とも放映していただきありがとうございました。またよろしくお願ひします。ケーブルテレビですが、スマホアプリ「ど・ろーかる」で放映後 1 週間、全国どこからでも見られます。今回はすでに終了！残念・・・私、ちょっと語ってました。あー恥ずかし！



両生類ポーズ (指ね) で記念撮影

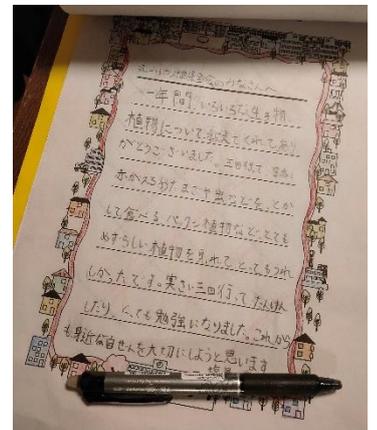
小学校からお礼状 ★2月28日(金) 新型コロナで休業が発表された日

環境学習を実施した西谷小学校 3 年生からお礼状が届きました。奇しくも首相の「春休みまで学校休業要請」が出た日。宝塚市は慌てず次週の 3 日 (火) ~15 日 (日) までの休校を決定。結局年度内休校になったようですが、相当バタバタされた状態だったと思います。



届いたお礼状綴り

もう出来上がっていたのかはわかりませんが、リボンもかけていただき、担任の先生のメッセージまで。丁寧な字で、「これからも丸山湿原を大切にしたい」とか、「身近な自然に目を向きたい」と、お礼の言葉とともに綴られていました。ありがとうございます。今後の励みになります。また必ず丸山湿原に遊びに来てくだ



さい。それと・・・入会はいつでも受け付けています！

丁寧に書かれていました

樹木伐採 ★3月4日(水) ~20日(金) ごろ？ 阪神北県民局発注 丹波市森林組合作業

丹波森林組合青垣支部より第 3 湿原西側の樹木伐採に来ていただいています。常緑樹の量が増



実にプロらしいチェーンソーワーク

え暗い林になっていました。太い落葉樹も伐採をお願い。作業期間は約 2 週間です。昨年も第 2 湿原の作業でお会いした方々で、「笹刃のアサリの付け方」の話題で 1 年前にも登場していただきました。丸山湿原群の周辺伐採には初期から関わっておられ慣れたもの。伐り取った樹木を丁寧に棚にしていきます。今年は太い木も多くチェーンソー作業が主となります。第 3 湿原手前になると、チェーンソーの音が聞こえてきます。大体 40 cc 前後のエンジン。バーの長さは 35~40 cm。当然プロ仕様のマシンです。重量は 4 kg 越え。それを 63 歳や 75 歳になる方が楽々と操る姿には驚かされます。「保全の会」でできればいいのですがやはり荷が重すぎます。我々は「こがるちゃん 28 cc」で頑張りましょう。「ご安全に〜！」お互いスキルと安全対策はきっちり。



コロナの気晴らし ご家族連れ 4 人組 猪名川から

作業のおかげで第3湿原から山の頂上が見えるようになりました。第2湿原へのバイパスとしても使えるかもしれません。これは今後の検討事項。作業前に残す木を副代表とチェックした際、**オオウラジロノキ(大裏白の木)**が1本見つかりました。また覗いてください。ひょっとしてナツツバキもあるのではと期待しましたが、よく似た？**リョウブ(令法)**ばかりでした。残念！



中学3人組 宝塚・川西・吹田から

ついでと言っては何ですが、コロナの影響で丸山湿原に来られる方が増えているようです。皮肉な話ですが、「学校が休みで家の中ばかりではストレスが溜まる」と家族連れや、中学生が相談してやって来たりしていました。もちろんおにぎり持参で。自然に興味のある人ばかりで、木道脇にある卵を見つけて「成体はいないのですか？」など質問多数。学校が休みだと学びに飢えているのでしょうか。そんなこともないよな～。でも賢い休みの使い方ではないでしょうか。交通費はかかるけど。

定期活動★3月14日(土) 基礎調査 センサスライン撤収 **新入会員2名**を含む6名で活動

目的	市内	市外
丸山	66	33
ハイキング	20	16
その他	22	34

来場者数 計 191 人
(竹筒ポスト人数)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
入口	10:00	データ無し		
第3湿原	10:29	【9.1℃】	29.0 μS/cm	7.0
視点場	データ無し	10.2℃	26.0 μS/cm	6.7
第1湿原	データ無し	【10.4℃】	28.1 μS/cm	7.1
第2湿原	11:30	【9.5℃】	31.9 μS/cm	6.8

雨の中、なんと**新入会員が2名参加！しかも小学3年とそのお母さん**。箕面森町から。丸山湿原には何度か来られていたようで、謎の卵を発見。それを調べているうちに「保全の会」にたどり着いたとか。メールをいただき、「ゆるい会ですよ」の返信に安心されたのかご入会いただきました。

早速の参加(雨なのに…)ありがたい。仕事を押し付けるようにECの測定や記録、センサスラインの巻取りをしていただきました。小学生の会員初めてでなんか感動しています。しかもお母さんの年



働く！働く！3年生 新会員

なポストからでも見えるものがあるんですね。続けましょう。

センサスラインの巻取りは会員手作りのリール。2月27日(木)残す木のチェック時に持参していただきました。ぱっちりです。ありがとうございます。小学生がせっせと巻いてくれました。みんなでやりましたよ、決してさぼっていませんのでお間違いなく…



青いカップ姿の新会員 記録係
入ることができ、卵嚢やオタマジャクシを堪能されました。これからもよろしくお願いします。

竹筒ポストのデータを見てみるとこれも面白い。毎回市外の方が多いのに、今回は市内の人数が多い。理由は…か？こん



リールができてすっきり収納

次回活動日 3月22日(日) 4月11日(土) 26日(日) 5月9日(土) 落ち着いてるやろか？